新春を迎えて ～魅力ある「南三陸町」の創造に向けて～

南三陸町長
佐藤　仁

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春をお健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から町政運営の各般に渡り、ご理解とご協力を賜わっておりますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、景気の動向は回復基調にあると言われておりますが、いまだ、実感するには程遠く、昨今の原油価格の高騰による生産コストの上昇など、地域経済を取り巻く環境はますます厳しいものとなってきております。

一方、地方自治体を取り巻く環境に目を向けましても、三位一体改革による地方交付税の削減や少子化問題、高齢者福祉の問題、教育問題、さらには環境の問題など、依然として課題が山積している状況にあります。

ご承知のように、本町では、昨年3月にまちづくりの指針となる総合計画を策定いたしました。

昨年は、この計画を基本としながら、名足保育園の新築や伊里前小学校のグランド整備、さらには、斎場の建設や入谷小学校の新築をはじめとした各種行政施策を推進してまいりました。また同時に、厳しい財政事情を背景に行政改革にも積極的に取り組んでまいりました。

今年も、さまざまな行政課題が山積しておりますが、圏域住民の共通の課題であります三陸縦貫自動車道の早期整備や払川ダムの建設整備につきましては、関係機関と連携を図りながら、引き続き、国、県に積極的に働きかけ、早期の完成に向け努力をしてまいります。また、本年10月から3か月間、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」が展開されますが、南三陸町ブランドの確立と観光による町づくりを目指す本町においては、絶好のチャンスであり、関係皆様のご支援、ご協力を賜りながら積極的に推進してまいりたいと考えております。

南三陸町を取り巻く行財政環境は、非常に厳しいものがありますが、町民の目線に立った町政運営を念頭に、議会をはじめ、町民皆様のご理解とご協力をいただきながら、「南三陸町に住んでよかった」、町外にお住まいの方からは「住んでみたい町」と思っていただけるようなまちづくりに向け、全力を傾注し、取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

輝かしい平成20年が、町民皆様にとりまして、より良い年になることを心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

住民とともに協働によるまちづくりを目指して

南三陸町議会議長
後藤　清喜

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春をお健やかに迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。

南三陸町が誕生し、新しいまちづくりに邁進し、早いもので3度目の新年を迎えることができました。その間、町政の進展と議会の活性化に精力を傾注し、議会活動に専念することができましたことは、皆様方の力強いご支援とご協力によるものと心から感謝と御礼を申し上げるものであります。

これまで新町における一体感の醸成を第一とし、明るく住みよいまちづくりを目指してまいりました。しかしながら、景気回復の実感はまだまだ程遠いものがあり、さらに昨年から引き続いている燃油の高騰は、地域産業の停滞にとどまらず、住民生活までをも圧迫し深刻な様相を呈しております。このような状況を打開するためには、まちづくりにおける議会と執行部の両輪を、さらに強く前に推し進める「協働」という住民皆様の積極的な参画が、今後とも必要不可欠であると意を新たにしております。

さらにまた、行財政改革が強力に進められているなか、昨年は特別委員会を設置し議員の費用弁償という経費の削減、さらに現在の議員定数を減数とする決定など、議会においても積極的な取り組みをしております。具体的な議員定数については、今後の検討になりますが、議会に対するご意見も含めて、住民皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。

住民皆様のまちづくりに対する強い負託を受けた我々議会議員として、「住民とともに協働のまちづくり」、「住民のための議会」を肝に銘じ、本年も鋭意努力してまいる所存でございますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げるものでございます。

平成20年が皆様にとって最良の年となるように、ご健勝とご多幸、南三陸町の益々の発展を心からご祈念申し上げ、年頭に当たりましてのご挨拶といたします。

新春トーク　今年は子年。年男年女の皆さんに今年の抱負をうかがいました。

菅原　博さん
（戸水戸辺　）

昨年は特に何事もなく、平穏無事な一年でした。

今年は、一番上の孫が中学を卒業します。孫たちの成長がなによりの楽しみですね。

そして家族みんなが健康で過ごせる良い年であることを願っています。

佐藤　秀昭さん
（志塩入）

去年は初孫が誕生し、おじいちゃんに。今までは仕事中心の生活でしたが、還暦を機に気持ちにゆとりが持てる生き方をしたいと考えています。

文化的なものに多く触れ、感性を高めるよう努めたい。そして、この町での当たり前の生活の中から、目線を変えれば見つかる様々な魅力を、趣味のカメラを通して数多く発掘していきたいです。いつか自分の写真展を開きたいと思っています。

三浦　ひろみさん
（歌北の沢）

習い事、資格の修得を、職場や家族に迷惑がかからない範囲で頑張りたい。

また、野球に夢中な次男が高校３年になるので、その活躍を期待して野球部の応援に奔走します！

地方の景気回復は足踏み状態ですが、海と山の幸豊かな南三陸町が飛躍の年となることを祈ります。

皆様も幸多き一年でありますように。

新春トーク　いろんな願い　かなうといいですね

大森一茂さん・幸さん
（志清水浜）

♠昨年は転勤があって慌しかったので、今年はゆとりを持って家族サービスをしたい。

♥私は自然の中で自給自足する生活にあこがれがあるので、農漁業を体験したいな。

♠でも、お互いの仕事の休みが合わないから、旅行など難しいよね。

♠♥なるべく家族みんなが一緒に過ごせる時間を作ろうね。

山内　結香里さん
（入林際）

お店に勤めているので、多くのお客様に顔を覚えてもらえるよう、今まで以上に頑張りたい。それから、何か新しいことを始めたい。たとえばスポーツ全般。メンバーが足りないなどありましたら、参加してみたいので私を誘ってください！

続けて休むことがなく遠出する機会がなかったので、のんびりと旅行でもしてみたいな。

千葉　将喜さん
（伊里前小５年）

６年生になるので、今まで以上に低学年のお世話をしたいです。

野球が好きで、伊里前小野球スポーツ少年団に入っています。レギュラーで４番バッターを目指し、宮城県スポーツ少年団野球大会（ジャンボ大会）で"ベスト４"に入ることが今年の目標です。けがをしないように注意しながら、練習にがんばります！